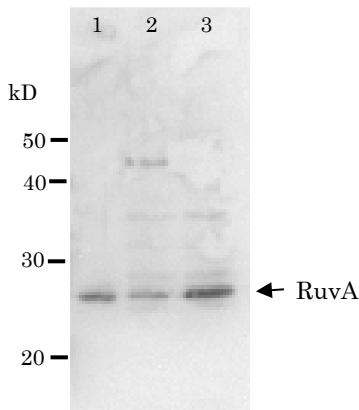


抗 RuvA 抗体, ウサギ抗血清

商品コード	61-005
容量	100 μ l
保存	-20 $^{\circ}$ C 凍結融解を避ける
濃度	N/A
バッファー	0.05%アジ化ナトリウム添加
純度	ウサギ抗血清
抗原	精製全長リコンビナント RuvA タンパク質 (文献 2)
アイソタイプ	ウサギ IgG
反応性	<i>E.coli</i> RuvA
アプリケーション	1) ELISA 2) ウェスタンブロッティング (x 3,000 希釈) (図 1) 他の用途は試されていない。
背景	大腸菌 RuvA タンパク質は、相同組換え、組換え修復の後期過程で、組換え中間体であるホリデイ構造に特異的に結合し、RuvB モータータンパクと複合体を形成して、ホリデイ交叉点を ATP 水解のエネルギーを利用して移動させ、ヘテロ 2 倍体領域を拡大する。水溶液中では 4 量体を形成し、ホリデイ交叉の十字架型 DNA に上下両方からサンドウィッチするように結合する (文献 1、2)。 この抗体を用いたウェスタンブロッティングを大腸菌抽出液で行い RuvA に相当する 22kD のバンド が得られた (図 1)。
Data Link	UniProtKB P0A809
画像	 図 1 この抗体を用いた RuvA (22kD) タンパク質のウェスタンブロッティング lane1: RuvA タンパク質 0.8ng lane2: 大腸菌 AB1157 株粗抽出液 lane3: 大腸菌 AB1157 <i>lexA</i> 変異株粗抽出液 RuvA の発現は <i>lexA</i> 変異によって増強された。
文献	- Shinagawa H and Iwasaki H (1996) "Processing the holliday junction in homologous recombination." <i>Trends Biochem Sci</i> 21:107-111 PMID: 8882584 - Iwasaki H <i>et al</i> (1992) "Escherichia coli RuvA and RuvB proteins specifically interact with Holliday junctions and promote branch migration." <i>Genes Dev</i> 6:2214-2220 PMID: 1427081
関連製品	01-007 大腸菌 RuvA タンパク質 01-009 大腸菌 RuvB タンパク質 01-011 大腸菌 RuvC タンパク質 61-007 抗大腸菌 RuvB 抗体、ウサギ抗血清 61-009 抗大腸菌 RuvC 抗体、ウサギ抗血清
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	